

地域と共にある学校づくり

信州型コミュニティスクール

北信地区活動だより

NO2 平成30年7月2日 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 西澤 慎治

信州型コミュニティスクールの取組がスタートし6年目を迎えました。北信地区では、すべての小・中学校で信州型コミュニティスクール（以下「信州型CS」）や国のコミュニティ・スクールの仕組みが整い、それぞれの学校で地域の特色や地域とのつながりを生かした多様な取組が行われています。

そこで、各校の取組の情報を共有していただくために、「信州型コミュニティスクール北信地区活動だより」を定期的に発行し、学校訪問等をもとに各校の取組事例を紹介していきます。ご参考にしていただければ幸いです。

須坂小



「公民館と連携したくぬぎの時間」 須坂小学校

公民館と連携した「くぬぎの時間」とは？

須坂小学校では、須坂市中央公民館と連携し、3～6年生の縦割りの講座によるくぬぎの時間（総合的な学習の時間）に取り組んでいます。昨年度は、5講座を開講し、学校職員とともに、公民館職員、地域講師（支援団体）の協力や支援により、5月から10月に計11回（全19時間）の学習が行われました。

公民館職員が、すべての講座に学校と地域のつなぎ役としてかわり、学校職員、地域講師の皆さんと話し合い、子どもの声も聴きながら講座の組立とサポートをしています。昨年度開講した講座と地域講師（支援団体）は下の通りです。

かぐら・かさぼこに挑戦

★地域講師（支援団体）★
常盤町神楽保存会

鎌田山や自然を楽しもう

★地域講師（支援団体）★
蝶の民族館長、学習ボランティア

昔の遊びに挑戦

★地域講師（支援団体）★
寺子塾（昔の遊び）



郷土の料理に挑戦

★地域講師（支援団体）★
にこにこすざか食

福祉体験をしよう

★地域講師（支援団体）★
須坂市社会福祉協議会
須坂市立須坂図書館

今年度は、新たに
「地域探検」の
講座が加わりました。



■ くぬぎの時間で大切にしたいこと（打ち合わせ会の実施）

年度初め、くぬぎの時間にかかわる学校職員、公民館職員、地域講師（各種支援団体代表）が一堂に集まり、学習のスタートに向けて打合せ会が行われました。はじめに、学校より実施計画の説明が行われ、参加者全員でこの学習で子どもたちにつけたい力や大切にしたい点を共有しました。

【くぬぎの時間で大切にしたいこと】

- 「地域から」「地域に」「地域を」学ぶ学習を中心に、地域の方々や保護者とともに学ぶ場を大切にする。
- 体験活動を中心に、学び方やものの考え方を身につける。「自ら考える力」を身につけることを大切にする。
- 主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てるために、人とのかかわりを通して学ぶ場、体験的な活動を通して学ぶ場を大切にする。

その後、各講座に分かれて打合せが行われました。どの講座にも公民館職員が打ち合わせに加わり、活動内容の確認や地域講師、公民館職員の学習支援のあり方について話し合いました。

<講座「郷土の料理に挑戦」での話し合いの様子>

ただ料理を作るだけでなく、郷土料理の歴史にも目を向け自分たちで調べる活動にしたい。（学校職員）

作りたい料理は、子どもが考え決めること。われわれ大人は、あまり手を出さず寄り添って一緒に考えてみるスタンスで接したい。（公民館職員）



子どもたちが『この料理を作りたい』という気持ちに応えられるよう、得意でない郷土料理についても勉強しておきたい。

私も子どもを通し、勉強させていただいている。（地域講師：ここにこすざか 食の皆さん）

💡 この打合せ会は、参加者それぞれがくぬぎの時間への思い、子どもたちへの思いを語り合い、どんな子どもの姿を願い、そのためにどんな支援が必要か、そして何ができるかを共有する重要な場となりました。また、くぬぎの時間が子どもたちだけでなく、地域の方々にとっても学びの場になっていることを感じました。

■ 講座「かぐら・かさぼこに挑戦」の取組

この講座は、須坂市の伝統行事である祇園祭のかさぼこ行列で、かさぼこを曳航するときに奏でるかぐらを学び、実際にかさぼこ行列の時に演奏（笛・太鼓）するという講座です。この講座には、須坂支援学校小学部の子どもたちも参加し、かさぼこ行列での演奏とくぬぎの時間のまとめとなる「くぬぎ祭」での発表を一緒に行いました。

2学期初め、子どもたちが地域講師である常盤町神楽保存会の皆さんにかぐらの歴史や演奏を学ぶため、学校近くの公会堂へ足を運びました。この日のために保存会の皆さん8名が集まり、子どもたちの間近で迫力あるかぐらの演奏と獅子舞を披露して下さいました。子どもたちは真剣に演奏を聴き、太鼓のリズムに合わせて鉛筆をばちに見立てて一緒にリズムを刻む姿もありました。子どもたちにとって、体験を通し本物に触れる価値ある場となりました。

公民館職員さんは、活動を推進していくためのパートナー

この学習の場の設定や神楽保存会の皆さんとの連絡調整を、公民館職員のUさんが担っています。講座担当の学校職員とともに学習に参加し、子どもたちの徒歩移動の交通誘導や公会堂内での案内、学習の見守りをされていました。この他、神楽保存会からお借りする太鼓の搬入や練習時の子どもたちへの声かけもされています。

学校にとって、公民館職員はくぬぎの時間はもとより、すべての教育活動を推進していくためのパートナーとして、欠くことのできない存在となっています。



【公民館職員Uさん】

「地域の教育力を生かして、子どもたちの生きる力を学校と一緒に育てていきたいです。私も子どもたちと一緒に、地域の伝統を学ばせていただいています」



<迫力あるかぐらに聴き入る子どもたち>



<友だちとかぐらの練習に取り組む子どもたち>

須坂小学校信州型CSのスタート（H29）

学校と公民館が連携して取り組むこのくぬぎの時間は、信州型CSが発足する以前から行われてきました。須坂小学校では、このくぬぎの時間を信州型CSの核に据え、これまでの公民館とのつながり、支援団体とのつながりをベースにして、昨年度、運営委員会が発足しました。ボランティアコーディネーターは、公民館長が務め、運営委員には公民館職員も加わっています。

そして、これまでくぬぎの時間にかかわってくださっていた支援団体の皆さんには、信州型CSの体制の中で、引き続き支援をお願いしています。このことにより、くぬぎの時間以外の学習の場や生活の場で、支援団体の皆さんによる支援の輪が広がってきています。

 信州型CSの充実のために、これまでの地域とのつながりをもとに地域との横のつながりをさらに強め、学校と地域が学びのパートナーとして、どんな子どもを育てたいのか、そのためにそれぞれがどんな支援ができるのかを共有し、「協働」して取り組むことの大切さを須坂小学校から学びました。

地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に出向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡していただけましたらと思います。

■■ お問い合わせ先 ■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1
Tel: 026-234-9552 E-mail: hokushinky@pref.nagano.lg.jp